

※赤字部分は特に注意してください。

入稿データについて

奈良新聞社では入稿データを開くことはしません。

データが正しく作成されているか、下記の項目を必ずチェック・確認をしてください。

紙面で使用するデータはIllustratorで全てのフォントをアウトライン化したデータです。※Officeのデータ、PDFデータは不可。

入稿は校了日の3日前
厳守でお願いいたします

入稿データの作成について

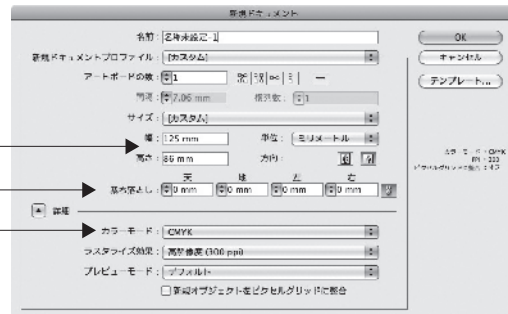
画像

- 画像は、CMYKまたはグレースケールを使用してください。※2階調は不可。
- 画像のサイズは、実寸で解像度350dpi程度にしてください。
- インキの総使用量 (UCR値) は、350%以下にしてください。

Illustratorの設定

- アートボードは、指定の広告サイズに設定してください。
- 裁ち落としは、天地左右0mmに設定してください。
- カラーモードは、CMYKにしてください。
- オブジェクトの使用色は、CMYK・グレースケールのみにしてください。
※スウォッチ内の特色は、CMYKに変換してください。
- インキの総使用量 (UCR値) は、350%以下にしてください。
- ドロップシャドウなど特殊効果を使用している場合は、メニュー「効果」→「ドキュメントのラスターサイズ効果設定」を350ppiに設定してください。
- 透明効果を使用している場合は、メニュー「ファイル」→「ドキュメント設定」→「プリセット」を高解像度に設定してください。
- 広告の領域が分かるように、広告サイズで囲み野を付けてください。
- 不要なオブジェクト・レイヤーは作成しないでください。
- アートボード外にオブジェクトを出さないでください。**トンボ(トリムマーク)は不要です。**

新規ドキュメント作成時の設定ウィンドウ (CS5)



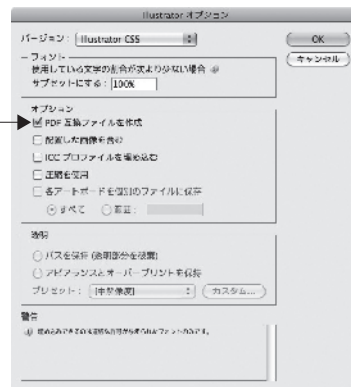
注意点

- 墨 (K100%) のオブジェクトは、すべてオーバープリント処理されます。
※金赤や濃度のある地色に墨のオブジェクトを使用すると、墨が濃い赤茶色になるなど想定しない色になってしまいます。
※墨のオーバープリント処理を意図しない場合は、K99%に設定します。
- 墨以外のオーバープリント処理は、Illustratorの設定が反映されます。
- メニュー「オブジェクト」→「透明部分を分割・統合」の処理はしないでください。
※画像に白いラインが入る場合があります。
- データを再現するための最低ラインの目安は、線=0.3pt、文字=4ptになります。
※オブジェクトが細かすぎると、出力時に消えてしまう場合があります。
- 複雑な図形や特殊効果などの多用はしないでください。
※予期せぬエラーの原因になります。

入稿時

- 使用フォントは、すべてアウトライン化してください。**
- Illustratorに配置の画像は、「埋め込み」にしてください。**
- Illustratorは、ai形式で保存してください。**
※「PDF互換ファイルを作成」に必ずチェックを入れて保存してください。
- Illustratorのファイル名およびフォルダ名はその広告内容がわかる名称にしてください。
- 原稿に使用した全ファイル (Illustratorデータと画像データ) を入稿してください。
- データをCDなどのメディアで入稿の場合は、最終保存時の出力紙を添付してください。
- データをメールで入稿の場合は、最終保存時のPDFを添付してください。
- 媒体名、エリア (ならリビング北・中)、掲載日、広告主名、サイズ、刷色 (カラー・モノクロ) を記載したものを添付してください。

aiで保存時の設定ウィンドウ (CS5)



ならリビング 原稿サイズ

天 地 (mm)	
1段	27
2段	56
3段	86
4段	115
5段	145
6段	174
7段	204
8段	233
9段	263
10段	292
11段	322
12段	351

左 右 (mm)	
1/4	61
1/2	125
1P	253
2P*	526

※2P(見開き)、ノド部分に印刷可。センター面に限る。

題 字 横 【 6 1 × 2 7 】
記 事 中 【 6 1 × 2 7 】
突 出 し 【 5 2 × 5 6 】